

令和元年度後発医薬品使用促進計画

策定年月日 2019年8月26日

自治体名 (福祉事務所名)	輪島市 (輪島市福祉事務所)	後発医薬品の数量シェア (平成30年6月審査分)	全国の使用割合	国が定める目標値 ^(※) (A)	管内実績 (B)	目標との差 (A-B)																								
			77.6%	80.0%	77.6%	2.4%																								
<現在の状況> 1. 先発医薬品を調剤した事情(診療報酬明細書摘要欄の集計) <table border="1"> <thead> <tr> <th>先発医薬品を調剤した事情</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 薬局の在庫のため</td> <td>14.15%</td> </tr> <tr> <td>2. 患者の意向</td> <td>40.57%</td> </tr> <tr> <td>3. 後発医薬品なし</td> <td>36.79%</td> </tr> <tr> <td>4. その他</td> <td>8.49%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(平成30年度中診療分)</p> 当市における患者意向の割合は横ばい状態、後発医薬品なしの割合は増加傾向である。			先発医薬品を調剤した事情	割合	1. 薬局の在庫のため	14.15%	2. 患者の意向	40.57%	3. 後発医薬品なし	36.79%	4. その他	8.49%	<対応方針> 被保護者への説明 ○ 本年10月、全世帯(被保護者)に対し後発医薬品の使用が原則であることのリーフレットを送付。 ○ CWが訪問時に声掛けを行う。 ○ 新規ケース開始時にリーフレット手交、口頭にて説明実施。																	
先発医薬品を調剤した事情	割合																													
1. 薬局の在庫のため	14.15%																													
2. 患者の意向	40.57%																													
3. 後発医薬品なし	36.79%																													
4. その他	8.49%																													
2. 後発医薬品使用率 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">全体</th> <th colspan="4">調剤</th> </tr> <tr> <th>最低月</th> <th>75.0%</th> <th>最高月</th> <th>89.0%</th> <th>最低月</th> <th>80.3%</th> <th>最高月</th> <th>89.9%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">30年度中平均 82.19%</td> <td colspan="4">30年度中平均 85.70%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(レセプト管理システムより)</p> 当市における後発医薬品使用率は年単位の平均でみると、8割を超えている。			全体				調剤				最低月	75.0%	最高月	89.0%	最低月	80.3%	最高月	89.9%	30年度中平均 82.19%				30年度中平均 85.70%				関係機関への説明 ○ 年度内に原則使用について周知、協力依頼のお知らせ及び当市の実績を医療機関に送付。			
全体				調剤																										
最低月	75.0%	最高月	89.0%	最低月	80.3%	最高月	89.9%																							
30年度中平均 82.19%				30年度中平均 85.70%																										
			薬局における備蓄について 特段なし。																											
			その他 ○ 毎月の診療報酬明細書の点検時に摘要欄のチェックを行い、理由と対象者のリストを作成→CWへ訪問時に声掛けを依頼する。 ○ レセプト管理システムを利用し、定期的な状況把握に努める。																											
<使用促進が進んでいない原因> ○ 先発医薬品の利用者の実態把握が不十分。 ○ 後発医薬品の利用に不安を持つ被保護者、先発医薬品使用へのこだわりが強い被保護者が少数ながら、存在する。 ○ 院内処方の医院において、後発医薬品の切替が難しい。			<備考> ○ 先発医薬品使用者に対して声掛けを行ったケースもあるが、効きが悪いことや実際に体調不良になったとの話があるなど、簡単に切り替えられないケースがある。																											

※ 毎年度 80%達成を目指す。